

令和4年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（有限会社 三浦建設）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容>

導入機器：3次元設計データ作成ソフト、自動追尾型TS

<参加者>

15名（建設会社：3社3名、県職員：5名、市町村職員：7名）

<工事概要>

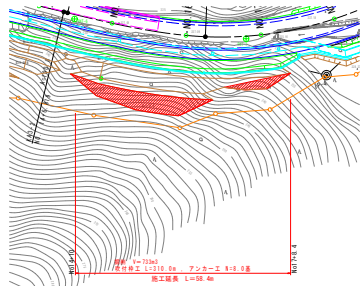
工事名：道交地防安（交安）第401-023-12号 県道窪川船戸線 防災・安全交付金工事

請負代金：53,614,000円、工期：令和6年1月26日～令和6年10月19日

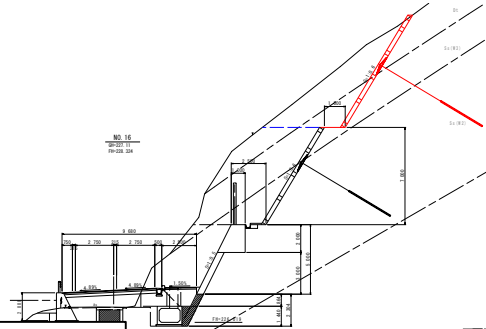
工事内容：施工延長 L=58.4m

土工(掘削) V=733m³、法面(吹付砕工)L=326.7m

法面工(アンカー工) N=8基



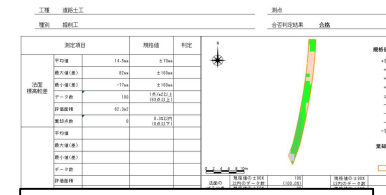
平面図



横断面図



出来形を自動追尾装置



3次元出来形作成



マシガイダンス

プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価
3次元起工測量	UAV測量（外注）	-	-	-	-
3次元設計データ	サイテック3D(外注)	-	-	-	作成ソフトは導入済なので、今後自社にて作成に取組み、作業環境の改善及び出来形・品質の向上につながると考えられます。
ICT施工	マシガイダンス	2人・日	1人・日	-50%	法面仕上げ時に法勾配確認の人員が不要で、法面からの転落及び重機との接触事故の心配も無く安全面でも効果があったと思います。
3次元出来形管理	UAV測量（外注）	-	-	-	-
合計		2人・日	1人・日	-50%	

施工者のコメント

・測量及び出来形について
従来の測量方法に比べ、ICT機器を利用したことで、作業負担が減り、残業時間が大幅に削減できました。

・ICT施工について
熟練のオペレーターには不評でしたが、若い作業員の仕事への興味が増したように思います。

今後も積極的にデジタル化に取組み、労働力不足を補えればと思います。

発注者のコメント

ICT建機による施工で法面勾配の確認に人員が不要となり効率化が図れた。また、危険箇所での確認作業等の減少や重機との接触の心配のなくなったことにより、安全性の向上にもつながった。現在は他のプロセスが外注となっているが、より効率化を進めるためにも内製化にも取り組み、更なる生産性向上を目指してもらいたい。